

地域と防災



地域へ発信!

学んだ防災



私達の住む富山地域では、平成二十年八月の台風十一号により、四万十市街への主要道路に亀裂が入り遮断され、人が生活に支障をきたしました。私達は、この苦しい過去の出来事から、三十年以内に来ると言われていよう南海トラフ地震に向けて地域を考えた。この新聞を作りました。

私達の住む富山地域では、平成二十年八月の台風十一号により、四万十市街への主要道路に亀裂が入り遮断され、人が生活に支障をきたしました。私達は、この苦しい過去の出来事から、三十年以内に来ると言われていよう南海トラフ地震に向けて地域を考えた。この新聞を作りました。

富山を守るのは私達



この苦しい過去の出来事から、三十年以内に来ると言われていよう南海トラフ地震に向けて地域を考えた。この新聞を作りました。

毎年、日比愛楽学三成、十村結春、中作月陽、勢野本、伊伊坂

私達は、修学旅行で全国唯一の環境防災館である舞子高校を訪問しました。そこで、高教生が講演してくれました。

私達は、修学旅行で全国唯一の環境防災館である舞子高校を訪問しました。そこで、高教生が講演してくれました。

自分達にできること



(今年度の大田中学校の生徒)



(集合写真)

舞子高校へ研修

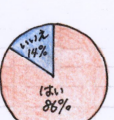
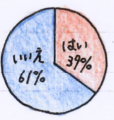
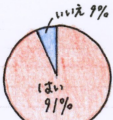
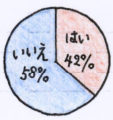


また、災害に強い地域をつくるために、地域の人達にアンケートを取り、災害についての意識や取り組みを調べ、富山地域の現状を知ることが必要だと思えます。

そして、昨年度から総合的な学習の時間に地域情報誌「大田なう」を作成して

小中学生の防災意識調査 約50人にアンケート!

Q 災害時のために何をしていますか。



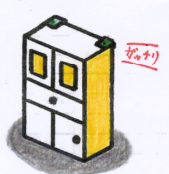
Q 防災についての関心はありますか。

Q 家の家具の固定をしていますか。

- ・へ心配なこしん
- ・食べ物
- ・土砂くずれ
- ・家族と会えるか
- ・建物の倒壊
- ・災害時の対応
- ・家の家具を固定していない。

防災 知識

身元防止グッズで“補強”



定で字向かいし下がす。のれのかげで具は大具取メ家は具金取スに効型キス

新聞スリッパを作成



(新聞スリッパを教えている様子)

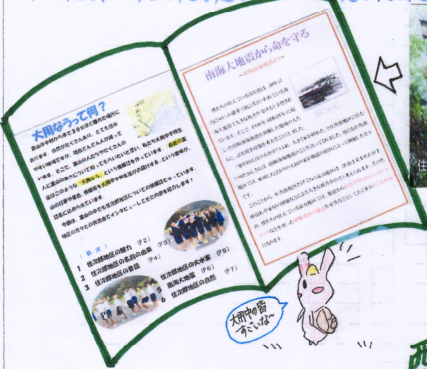
私達は、七月五日に大田地区との交流会を行いました。その中で災害時に使える新聞スリッパを地域の方向けに作成しました。

大田なう、第二号 配布します

私達は、年々人が減少している地域を活性化するために、去年から「大田なう」という地域情報誌を作成しています。今年も第二号を作成し、四万十市周辺に十一月頃配布予定です。



(集合ゲームの様子)



区についての情報を掲載しています。大田なうには、昭和南海地震を体験した地域の人達に話を聞き、近々来るであろう南海トラフ巨大地震への対策を考え、記事にしました。

区についての情報を掲載しています。大田なうには、昭和南海地震を体験した地域の人達に話を聞き、近々来るであろう南海トラフ巨大地震への対策を考え、記事にしました。